

横浜能楽堂平成 28 年度指定管理業務評価（外部評価）

	横山委員長	芦澤委員	足立委員	猪又委員
I 文化事業①	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公演企画・券売率については、毎年安定的に優れた成果を残しており、管理者を信頼している。前年度にバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」を受賞したバリアフリー能について、意見交換会を通じてネット広報の必要性を認識するなど、今年度になっても改善の手を緩めない姿勢が見られたことを特に評価したい。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー能が、横浜能楽堂の意義を内外に知らしめる重要な企画であり、かつ障がいのある方がネット上で情報を得る機会が多いということであるならば、たとえばウェブサイトのトップページに常設のバナーを置くといった広報強化が検討されても良いのではないか。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として、引き続きの高い券売率。</li> <li>・芸術性にくわえ、国際性も持たせた、高い水準の企画。（皇室、大使夫人の来場があった国際交流事業等）</li> <li>・横浜（地元）をテーマとした公演、赤レンガ薪能など、「横浜」ならではの資源を前面に出した公演の企画実施。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裾野を広げる事業について（子どもを対象とした普及公演などの券売率が目標未達）の企画・広報面での工夫。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい試みを取り入れた芸術性の高い企画を毎年企画し、多くの来場者を集めており、本施設の設置目的を具体化するものとして、高く評価します。</li> <li>・また、例年行われている横浜狂言堂やバリアフリー能でも、特別公演を行ったり、障がい者の方との意見交換会を行う等、常に改善を行う姿勢を高く評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供向けの事業は対象年齢の親子が常に新しい層となるため、学校を通じた案内等、PR に他の企画とは異なる工夫が必要ではないでしょうか。</li> <li>・バリアフリー能については、障がい者だけでなく、能の初心者にも比較的分かりやすい企画となっているため、障がい者を優先するものの、回数を増やすなどもっと多くの人に見てもらえるようにしてはいかがでしょうか。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館 20 周年記念を質の高い内容で公演を行った事。特に「伝説の能面・狂言面」は 20 年の実績と能楽界の理解を得てきたからこそ出来た内容となった。</li> <li>・バリアフリー能の継続は、難しい試みを見事に継続しバリアフリーの催しの手本ともなり、検討を続け進化させ続けている。</li> <li>・伝統芸能の拠点として「能の五番 朝薫の五番」は魅力ある共演となった。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの公演も、今後もマンネリにおちいることなく、新しい発想のもと公演制作に臨んでほしい。「親子能楽ワンダーランド」「こども狂言」なども斬新に内容を組み替えるなど、これからの見つめる方向でチャレンジしてほしい。</li> <li>・どうしても若い世代への普及が評価されやすいが、高齢化社会となっている現状を認識し、高齢者も意識した内容の催しにも着目してほしい。</li> </ul>
I 文化事業②	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館利用を促すためのウェブサイト改善や、地域住民への広報など、これまでの外部評価において指摘されてきた課題にしっかり取り組んだことを評価したい。youtube の広報活用、学校鑑賞会での貸館利用 5 件実施といったことも、高く評価する。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館利用促進のためにウェブサイト「さまざまなご利用のご紹介」ページを新設したことは、上述したように評価すべきことだが、トップページからこのページまで容易には辿り着かないことは依然として問題である。あらかじめ能楽堂の使用を検討している人ならば、トップページ左下隅にある「施設のご利用」を探し出してそこを開き、新たな紹介文によって利用を促進されるかもしれない。しかし、そもそも「能楽堂って自分たちも使えるんだ！」という気づきをトップページの段階で与えるべきではないか。あるいは、あらゆる公演情報の末尾に広告的に施設利用案内を記載するといった工夫が可能だろう。</li> <li>・中長期的な広報課題としては、ウェブサイトデザインのスマートフォン対応が検討されるべきだろう。他の能楽堂に比して革新的に優れたウェブサイトであったが、大多数がスマートフォンを通じてウェブサイトへアクセスするようになった現在、パソコン画面を前提にしたサイトデザインは可読性の点で大きな問題をかかえている。上述した利用案内への誘導や、バリアフリー能の広報のことも含め、ウェブサイト再構築が検討されるべき時期のように思う。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS を積極的に利用するなど、意欲的な取り組み。</li> <li>・ロータリークラブ、アフターコンベンションなどの利用サポート、三菱地所レジデンスとの連携といった、「伝統芸能」の潜在的顧客層にリーチ。</li> <li>・学校鑑賞会への貸館利用など、新しい施設利用の道筋を開拓。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・潜在的顧客を掘り起こす（富裕層により確実にリーチする）戦略的マーケティングがあってもよいかもしれません。（特に三菱地所レジデンス等の新規連携先とは継続した関係性強化に）</li> <li>・インバウンドの増加（需要）を確実に取り込むための施策強化。</li> <li>・MICE については横浜市（文化観光局）と連携し、誘致決定後の早い段階から企画提案ができるとよいと思います。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進のための情報発信を工夫されるなど、これまでの指摘に適切に対応されている点を評価します。</li> <li>・様々なチャンネルを使い、情報発信の工夫をされている点を評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限定されたスタッフの中で効果的な情報発信を行うためにも、費用対効果の検証をしながら、引き続き取り組みをしてください。</li> <li>・地域連携、特に学校との連携については、市の教育方針とも密接に関わるため、施設単独での利用促進の取組に加え、市との連携が不可欠です。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット、youtube へのアップなど積極的な情報発信をしている。</li> <li>・一般市民の方を視野に入れた能面のコンクール。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能・狂言の様々な切り口、能楽の奥深さを利用し、観客層の拡大とアピールに努めてほしい。</li> <li>・地元企業や教育団体との連携を拡大し、能楽堂の存在をさらに周知し、伝統芸能の魅力をアピールしてほしい。</li> </ul>

横浜能楽堂平成28年度指定管理業務評価（外部評価）

	横山委員長	芦澤委員	足立委員	猪又委員
Ⅱ 施設運営	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堅実に施設を運営しているだけでなく、研修を通じて職員の専門性向上をはかる姿勢を高く評価する。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用促進については上記「文化事業②」と重なるので、そちらを参照のこと。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山の日の施設見学といった新しい施策。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MICE との連携等による施設見学回数の増加施策。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設利用率向上に向けて、情報発信を工夫したり、新しい利用の受け入れをされている点を評価します。</li> <li>・ 事務補助員を採用され、人員配置を補完されていることを評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な取り組みをされながら、第二舞台は利用率が低いというのが、例年の課題となっています。利用団体へのニーズの聞き取りなど、新しい利用促進の方法を探る努力を続けてください。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画通り、人員配置や勤務態勢を整えている。</li> <li>・ 専門性の向上のため、能装束研修、バリアフリー研修を行い、人材の育成に努めた。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稼働率について、見学会などの内容を見直し、新しい見学会、体験会などをおし、能楽堂を身近に感じてもらうような新しい広がりを探るなど、稼働率を上げてほしい。</li> </ul>
Ⅲ 維持管理	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堅実に維持管理されていると評価する。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堅実な維持管理。</li> <li>・ 個人情報の問題発生において、迅速な事後対応ができていると思います。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートは回収数ではなく、回収率の目標設定と、回収率向上のための新たな施策の導入可能性の検討。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画に沿って適切に実施されています。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備の不具合が報告されているので、市と協議・連携し、施設の運営や利用に支障のないよう、引き続き適切な施設の維持管理に努めていただきたい。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故が無かったこと。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の老朽化について、行政と密な連絡のもと、早めの処置を求めます。</li> </ul>
Ⅳ 収支	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部資金の獲得は大いに評価すべきである。ショップ商品のリニューアルも、地味ながら重要な成果である。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぜひ施設利用率、利用料収入の向上を実現していただきたい。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型助成金の獲得(2,790万円)</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 券売率の高さを考えると、チケット価格の引き上げの可能性の検討。</li> <li>・ 企業協賛の可能性の検討</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算より補助金を2,000万円多く獲得され、それが事業の充実につながったことを評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全費が予算より多く要していますので、今後の老朽化に合わせ、適切に見積り、予算の手当てを行うようにしてください。</li> <li>・ 指定管理料という税負担によって施設の運営が支えられていることから、収支改善には常に努力をしてください。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成金の確保は、事業内容の充実が認められたことによるものと思います。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続きよい企画で、助成金の確保に努めてほしい。</li> </ul>
その他	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください) ・ なし。	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)	(I～IV以外で何かお気づきの点があれば御記載ください)

横浜能楽堂平成28年度指定管理業務評価（外部評価）

	横山委員長	芦澤委員	足立委員	猪又委員
平成28年度総括	<p>(H28年度指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <p>「公演企画において優れた成果を出しつつ、その他の施設利用が十分ではない」という長期的な課題は変わらないものの、28年度は具体的な広報強化策が実施され、こうした課題へ取り組む姿勢が明確に見られた1年間であった。</p>	<p>(H28年度指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <p>横浜を代表する芸術施設として、高い質の運営をしておられると思います。 例年、大型助成金を受注しておられるのは、堅実かつ強固な土台を築いているからだと思います。 貸館利用率（特に第二舞台）の向上については引き続き課題ととらえて解決に向けて施策を打って行ってください。</p>	<p>(H28年度指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館20周年で、記念事業の開催等、充実した公演を行い、多くの来場者を集められたことを高く評価します。</li> <li>・また、過年度の評価時の指摘に対し、対応するなど、改善に対する意欲的な取り組みがみられ、高く評価されます。</li> <li>・補助金の獲得など、公演の充実に向けた取り組みも高く評価されます。</li> </ul>	<p>(H28年度指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年で培ったノウハウや信頼をさらに深め、ますますの発展を望みます。</li> <li>・能楽は特殊という認識を見直し、新しい感覚も入れながら、これからの伝統芸能のあり方を追求してほしい。</li> </ul>
第2期指定管理期間総括	<p>(第2期指定管理期間(H24年度～H28年度)指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <p>横浜能楽堂の運営を任せるうえで、十分信頼に足る実績を残してきたと評価する。今後は、28年度評価で指摘された課題や、広報インフラなどの中長期的な課題に取り組むことを期待する。オリンピック・パラリンピックを控え周辺状況が激変する時期を迎えるが、これを好機と捉え、21世紀の社会における古典芸能のあり方のモデルを内外に示してもらいたい。</p>	<p>(第2期指定管理期間(H24年度～H28年度)指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <p>横浜を代表する芸術施設として、高い質の運営をしておられると思います。 芸術性の高い公演、国際都市横浜を意識した公演、SNS等を使った発信など、積極的な活動を高く評価します。 今後は、インバウンド、MICE、富裕層マーケティングに発展余地があると思います。お忙しいとは思いますが、引き続きの積極的な新しい挑戦を期待します。そして、財政的により独立性を持ち、継続性の高い施設となることを期待します。</p>	<p>(第2期指定管理期間(H24年度～H28年度)指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画公演、普及公演など、それぞれの企画の目的が明確であり、施設の設置目的を具現化しています。また、10年の指定管理期間を経て、安定的な運営が実現できているのに加え、毎年新しいものを取り入れるなど、改善の姿勢が評価されます。</li> <li>・すそ野の拡大という点については、子どもへの働きかけなど、長期的かつ多様な取り組みが必要で、効果が表れるのも時間が必要です。施設単独では取り組めることにも限界があるので、市や他の施設等、能に関わる関係者とも連携しながら、進めていただきたい。</li> <li>・運営に当たっては、専門ノウハウや関係各方面とのネットワークが不可欠であることから、研修に加え、日常業務におけるOJTなど、幅広いスタッフが将来にわたり、本施設の運営を担える体制としていくことが長期的な課題だと思います。</li> </ul>	<p>(第2期指定管理期間(H24年度～H28年度)指定管理業務全体を通じた評価の総括コメントを御記載ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館20周年というひとつの大きな事業を成し遂げ、20周年の集大成ともいえる公演を行うことが出来た努力を評価したい。ただし、横浜市の行政との二人三脚であったことも認識して、今後の横浜に横浜能楽堂ありという次の周年へ向けて事業を展開してほしい。そのことが望める横浜能楽堂となっている。</li> <li>・横浜能楽堂の運営を今後も任せうる実績を残したと高く評価したい。</li> </ul>

平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

I 文化事業目標①	評価項目	H28年度計画		実施状況		評価	
		指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価
1 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業について	幅広い層が鑑賞しやすいように工夫をこらした「普及公演」を実施	「普及公演-横浜狂言堂」毎月第2日曜日に開催	12回	12回	B	「もう1枚のチケット」プロジェクト 来場5名	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館20周年を記念し、祝賀的要素が強いだけでなく、通常の公演よりもさらに芸術性や希少性の高い内容の「伝説の能面・狂言面」公演においては、券売率84.8%を達成するとともに、アンケート結果などから様々な来場者にご満足いただけました。</li> <li>・国際交流事業として、イタリアとの国交150周年を記念した公演「琵琶とマンドリン」を実施し、秋篠宮妃殿下及びイタリア大使夫人にご来場いただきました。また当公演のCD及びダウンロード版の販売を行うことで、横浜能楽堂の存在を全国規模でPRすることや、横浜能楽堂へ足をお運びいただくことができない方へも公演の様子を味わっていただく機会の提供ができました。10月にはイタリア側からの招聘により現地での公演及びワークショップを行い、多様なかたちで国際交流を実現することができました。</li> <li>・「横浜狂言堂」では開催100回を記念し、通常通りの料金で、人間国宝の出演による質の高い公演を2回実施することで、より深く狂言の芸術性を味わっていただくことができました。アンケートでは、「初心者でも理解しやすかった」、「名人の至芸や名曲を鑑賞できた」という声がみられ、初心者からリピーターまで様々な鑑賞者にご満足いただけました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及公演「親子能楽ワンダーランド」は券売率が55.1%と目標を下回りました。アンケートによると、他の公演に比べ初めての方の来場率が高く(50%)、リピーターが少ないことがわかりました。これまでチラシ配布や新聞等の紙媒体を中心に広報を実施してきましたが、広報範囲を拡大し、インターネット上での情報露出回数を増やすなどの工夫が必要と考えます。また、より親しみやすい内容で保護者と子どもが来場しやすい価格設定を検討します。</li> <li>・「バリアフリー能」は券売が好調でしたが、公演後に開催した「視覚障がい者との意見交換会」において、障害のある方はインターネットやSNSで情報を得ている方が多いことが分かり、より確かな広報手段として、SNSの活用等まだ工夫ができると考えています。</li> <li>・「こども狂言ワークショップ～卒業編～」横浜こども狂言会」は開催時刻を調整することで、目標の参加人数を確保できました。次年度以降も引き続ききめ細かく対応します。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館20周年を記念した芸術性の高い公演を行い、来場者に特別な機会を提供するとともに、高い券売率で多くの方の来場に繋がったことを評価します。</li> <li>・「横浜の能」においては、公募した面を使用する公演を行うことで市民の方が事業に関わる機会となり、市民の方の御支援により横浜能楽堂が設立された経緯を鑑み、周年事業としてふさわしい内容となりました。</li> <li>・「バリアフリー能」に関しては、例年同様、多様なサポート体制を整えて公演を実施するとともに、視覚障害者の方及び聴覚障害者の方を対象とした見学会や意見交換会を実施するなど、公演の質を高める取組の継続を評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親子能楽ワンダーランド」は、子どもたちが能と狂言のどちらもを鑑賞する機会を提供するだけでなく、希望者を対象とした能楽鑑賞の体験型ワークショップを実施するなど、充実した事業内容であることを評価し継続を期待します。一方、券売率が目標に達しない点は、原因分析に基づいた対応が必要と考えます。</li> </ul> <p>能楽等の愛好者が減少している中、次世代育成の取組は重点的な課題であると考えます。公共施設として、若年層に加え、幅広い世代の愛好者を育成する継続的な事業や多様な演者が活躍する機会の提供を求めます。 <li>・「バリアフリー能」に関わる障害者を対象とした見学会は、内容が充実しており、丁寧なサポート体制で実施していることを高く評価しますが、事業の趣旨に鑑み、より積極的かつ効果的な広報による見学会参加者の増加や実施回数増加などが今後の課題と考えます。</li> <li>また、「バリアフリー能」で障害者向けに行うサポート体制を能楽等に初めて接する方や外国人向けの体験講座、公演前の解説講座の実施等に生かすことなどにより、「東京2020オリンピック・パラリンピック」等を視野に入れ、将来的にはユニバーサルな能楽堂となることを期待します。</li> </p>
		□券売率	80%以上	96.20%	A		
		「特別普及公演-横浜狂言堂100回記念公演」	2回	2回	B	記念として来場者にオリジナルキャンディ配布	
		□券売率	65%以上	97.30%	A		
		「普及公演-バリアフリー能」	1回	1回	B	2/18「視覚障がい者」「聴覚障害者」施設見学会実施、3/6バリアフリー研修実施、3/18終演後「視覚障がい者との意見交換会」開催	
		□券売率	50%以上	84.60%	A	介助者チケット94枚	
	「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」	1回	1回	B	開演前の体験(能管、小鼓、大鼓、太鼓)参加者87名		
	□券売率	65%以上	55.10%	C	来場者284名うち子ども112名		
	2 開館20周年を記念し芸術性の高い企画公演を実施	開館20周年記念横浜能楽堂企画公演「伝説の能面・狂言面」	全4回	全4回	B		
		□券売率	65%以上	84.80%	A		
		開館20周年記念横浜能楽堂企画公演「横浜の能」	1回	1回	B	地元横浜を舞台にした能「放下僧」「六浦」上演	
		□券売率	65%以上	95.80%	A		
	3 芸術性・学術性があり創造・発信性の高い「企画公演」、海外の古典芸能分野での国際交流事業を実施	「能面コンクール」	1回	1回	B		
		□応募面	80点以上	108点	A	公演に使用する大賞2面、入賞26面	
		伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」	1回	1回	B	5回シリーズの第3回	
		□券売率	65%以上	93.60%	A		
	4 公演とは違った形で古典芸能の楽しみを深める「講座」を実施	日本イタリア国交樹立150周年記念 特別企画公演「楽器は東へ西へー琵琶とマンドリン」	1回	1回	B	委嘱作品「楽琵琶とマンドリンのための絡み合わせ」世界初演、当日ロビーにベアト写真の展示(横浜市国際局との連携)。10月イタリア2都市で3公演・1ワークショップ実施。CD発売。	
		□券売率	65%以上	83.60%	A		
		追加事業 横浜能楽堂外ノ芸術祭「赤レンガ新能」	1回	1回	-	会場:赤レンガ倉庫イベント広場 照明:石井リサ明理、鏡板揮毫:山口晃 タブレットガイド導入(日英)	
		□券売率		91.70%	-		
5 自らが体験する「教室・ワークショップ」を実施	「スリーステップで学ぶ能」	1回	1回	B			
	□券売率	65%以上	95.40%	A			
	「こども狂言ワークショップ～入門編(全3日)」	1回	1回	B			
	□参加者数	16名以上 (参加定員の80%以上)	23名	A			
	「こども狂言ワークショップ～卒業編(稽古全10回)」	1回	1回	B	NHK Eテレ取材		
	□参加者数	4名以上 (参加定員の80%以上)	6名	A			
	「横浜こども狂言会」	1回	1回	B	21名参加、NHK Eテレ取材		
「初めての能楽教室シリーズ『謡・仕舞』『小鼓』『大鼓』(稽古全10回+発表会)」	1回	1回	B				
□参加者数	3教室計35名 (参加定員の80%以上)	3教室計44名	A	「謡・仕舞」「小鼓」「大鼓」			

平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標②	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
2 横浜能楽堂及び能楽等に関する情報の提供について	6 公演情報等の収集・提供	□新聞、雑誌への記事掲載	年間24回	年間44回	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段能楽堂に来場しない若年層の来館を目的として、インターネットを通じた情報発信を積極的に行ったことにより、公演で実施したアンケートの回答結果によると50歳代までの方の来場者数が43.6%となりました。</li> <li>・youtubeなど動画の活用等、効果的な事業の広報を行うことにより、今まで能楽等に関心のなかった層へ情報発信をすることができ、チケット完売や高い券売率につなげることができました。</li> <li>・特に、普段能楽等に興味が薄い層を呼び込むために開催した「赤レンガ薪能」においては、鏡板公開制作の様子をツイッターで実況するほか、youtubeへのアップを行うなどの新たな試みを行い、能楽ファンだけでなく幅広い方に関心を持ってもらう機会を提供できました。</li> <li>・特別展については、能面コンクール入賞作品展として女面28面を一度に展示し、作者の違いによる表情の違いを見比べることができる貴重な機会となりました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設として、近年、誰もが快適に施設へ御来館いただける環境を整えることが求められており、現状、館内サインの「視認性」や「ユニバーサル化」が課題です。財団事務局と協議しながら検討を進めます。</li> <li>・ロビーにデジタルサイネージを導入し、客席案内を大型画面で見やすく案内するほか、能楽紹介映像の放映やちらしの投影を次年度からスタートさせます。</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用した積極的な情報発信を行い、リピーターだけでなく、新たに能楽に関心を持つ方に向けた広報について、様々な取組を行っていることを評価します。</li> </ul> <p>【改善が必要と考えられる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業全般に関して、事業の目的に沿った方が来館しているのか、アンケートだけでなく顧客名簿などを活用して様々な分析を検討してください。</li> <li>・今後は、事業や横浜能楽堂に関する情報発信に加え、古典芸能のすそ野の拡大に向けて、能楽そのものの普及や能楽等の古典芸能に関心を持つ方の拡大につながる広報の実施についても期待します。</li> </ul>	
	7 ホームページ・ブログ・ツイッター等のITツールの活用	□ホームページアクセス数	月平均53,000	月平均68,008	A			<p>ブログ15回、ツイッター月平均14ツイート</p> <p>「赤レンガ薪能」鏡板公開制作で実況ツイート実施</p>
	9 ニコニコ動画の活用	■公演の実験中継を実施し、直接来られない層への認知度の向上	実施	5回実施	—			のべ視聴者数1,952名
	10 初めて能楽堂に来る層、日本語を母国語としない層への情報発信	■アンケートの分析を通じて満足度を調査し今後の集客に活用	実施	実施	—			顧客満足度平均4.5
	11 国内外の古典芸能の現状等を、現地に赴き文化・観光の視点からも調査	■ちらしや館内サインの多言語化についてニーズを見定めながら推進	実施	館内サイン検討 英語研修実施	—			12/11英語でおもてなし研修実施
12 調査研究の成果を基礎にした展示の開催	□今後の事業企画のための基礎調査として国内1か所、海外1か所を調査し、今後の事業に活用	実施	国内3カ所・3回、 海外3カ国	—	9.12月沖縄、10月テコ・イタリア、2月岐阜・福井			
3 能楽等の公演、練習その他の活動の支援について	13 「施設を利用したい」「稽古をしたい」「公演・ワークショップを開催したい」という利用者の「実現したい」をサポート	■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』を実施(公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援など)	実施	実施	—	<p>日本舞踊、ロータリークラブ、アフターコンベンションで初めて能舞台を利用する方に向け、アドバイスや通訳の手配サポート。</p> <p>学校鑑賞会の手配1校</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに施設利用案内の情報を写真入りで追加したほか、ツイッターでの貸館の様子配信への「リツイート」と「いいね」が最大時、通常の5倍ありました。</li> <li>・能楽堂の多様な活用による施設の利用率向上を目的として、ロータリークラブ、アフターコンベンションなど新しい利用へのサポートを行い(実績:2件)、今後の利用につながることも来年度以降の御利用に向けて、積極的なPRをすることができました。</li> <li>また、学校鑑賞会の貸館利用が5件あり、うち1件は当能楽堂が鑑賞会パッケージを作成し提供しました。今後、ユニークベニュー等の利用でも生かしたいと考えます。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>施設の未利用コマの活用を目的として、積極的な貸館促進を行う必要があると考えます。来年度以降、邦楽等の伝統文化活動団体への営業活動等、貸館促進の取組を行い、PDCAを回していく体制を整えます。</p>	
		■ホームページや動画サイトを活用し、具体的に利用をイメージできるような貸室映像を提供し、利用の促進につなげる	実施	実施	—	<p>HP「貸館」コーナーにさまざまなご利用の紹介、利用の流れを新設。</p> <p>ツイッターで「本日の貸館風景」を写真つきで紹介。</p>		

平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 能楽等に関する地域との連携事業について	14 地元企業・実演家・関連団体・地域団体等と連携した事業実施	□横浜能楽連盟と協力して「横浜能」を開催	1回	1回	B	券売率97.1%	【成果】 各関連団体との共催や連携により、広報範囲が拡大でき、地域との連携を強化することができました。また、西区区政推進課・同地域振興課と「春の街歩きキャンペーン」への協力、「さくらフェスタ2016」「同2017」への参加により、新規来場者が増加しました。近隣マンションへの広報活動(ちらし配布、年賀状送付)をスタートさせ、施設周知を図りました。学校・教育機関からの見学6件および職場体験1件、職場見学1件がありました。また横浜市小・中学校校長会において施設見学、職場体験について案内を行いました。  【課題】 三菱地所レジデンスとの提携をスタートさせクラブ会員および近隣管理マンションへの広報機会を得ましたが、今後も双方にメリットがある取組みを継続的にまいります。教育機関への積極的かつ継続的な働きかけが課題です。	【評価できる点】 ・関連団体や地域と連携した事業を継続して実施するとともに、特別見学会を実施するなど、新たな連携に繋げている点を評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・横浜市の施設として、能楽堂のある地域を中心として市域全体を視野に入れた地域や学校と連携した事業展開の拡大を引き続き期待します。 ・古典芸能分野は、学校単独での学習指導が難しい側面もあるため、横浜市芸術文化教育プラットフォームに参画して行う学校プログラムの拡充や、学校見学会・職場体験の機会提供や対象の拡大を引き続き期待します。
		□ふるさと西区実行委員会と協力して「かもんやま能」を開催	1回	1回	B	その他、西区区政推進課との連携「春のまちあるきキャンペーン」協賛		
		□横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業への協力	ワークショップ1校	ワークショップ1校	B	潮田小学校(鶴見区)での狂言ワークショップ実施		
		□学校・教育機関と連携した見学、職業体験の場を提供	学校の見学受入2回	見学7回	A	学校からの見学6回146名、中学生職場見学1回		
		職業体験1回	職場体験1回	B	私立高校1年生2名×2日間			

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 人員配置について		■館長(エグゼクティブ・プロデューサー) 1名 担当グループ長(管理運営) 1名 チームリーダー(専業) 1名 職員(専業3名、管理運営1名) 4名 補助職員(事務室補助職員2名、1F受付16名) 18名	配置	配置	H28年11月より事務室補助職員4名配置	【成果】 予定どおりの配置を行いました。  【課題】	【評価できる点】 ・業務計画通りの人員配置を行っていることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・施設の老朽化が進む時期であることから、安定的な施設運営に資する職員配置及び育成、ノウハウの蓄積が引き続き必要です。
2 勤務体制について		■館長を除き、ローテーションでの勤務体制  ■主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整し、柔軟に対応	実施	実施	計画どおりに勤務	【成果】 計画どおりの体制で勤務を行いました。超過勤務の管理を行いました。  【課題】 職員の業務分担に正副担当制を導入し業務量の平準化をはかります。	【評価できる点】 ・業務計画通りの勤務体制であることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 特筆すべき事項なし。
3 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供について	3 能舞台の制約を守りながら、能楽以外(琉球芸能・邦楽・日本舞踊等)での利用にもできるかぎり施設を提供	■能楽以外での利用にきめ細やかに対応できるよう、相談窓口機能を強化 ■撮影での利用相談につき柔軟に対応	実施	実施	能楽以外の施設利用割合12% 商業撮影の引き合い2件/実施0件、能楽堂への取材撮影4件	【成果】 制約をお伝えしながらロータリークラブ創立記念行事等の運営サポートを行いました。  【課題】 学校鑑賞会5件の利用を受け今後の利用のニーズを探り次年度以降のセールスにつなげます。撮影料金については次年度に周知できるよう案を検討しました。	【評価できる点】 ・能舞台の格式を維持しつつ、利用促進に向けて多様な利用の受入を検討していることを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・今後は、各学校への協力や様々な団体との連携を生かし、ユニークベニューやアフターコンベンションなどの積極的な営業活動やツアー・プログラムの作成等を検討してください。
	4 業務の基準に基づき、開館時間・利用料金の徴収・施設点検日を周知	■業務の基準に基づき実施	実施	実施	HP、月間催し物案内、「広報よこはま」等で開館時間、施設点検日を告知。利用料金はHP及び施設案内パンフレットに記載。		
4 利用促進及び利用者サービスの向上について	5 利用率向上のため、利用申込への柔軟な対応を行う	□本舞台(日) □第二舞台(日) □研修室(コマ) □楽屋(コマ) □年間来館者数	30% 70% 30% 25% 50,000人	37% 58% 32% 27% 52,883人	A C B B B	【成果】 ホームページでの施設利用案内を充実させました。ツイッターで「本日の貸館風景」としてご利用の様子を写真入りで紹介し、利用を身近に感じていただく試みを始めました。  【課題】 第二舞台の利用が目標に届きませんでした。利用促進のためのちらしを作成し、日本舞踊や邦楽等の団体に積極的に広報を行います。	【評価できる点】 ・年間来館者数が、目標を上回ったことを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・第二舞台は、本舞台の利用により影響を受けることがあるものの、目標利用率を達成することができなかったため、発表会や練習利用の推進や未利用枠の活用の積極的な検討を求めます。
	6 利用の促進のため、貸室の広報を行う	■ちらし・ホームページ・SNSを活用した貸室の周知を実施	実施	実施	HPに貸館情報を新設、ツイッターで貸館風景をツイート		

平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

5 組織的な施設運営について	7	施設の使命ならびに第2期指定管理期間の政策目標を達成するために、適切な経営組織の構築と人材の確保に努める	<input type="checkbox"/> 専門性向上のための研修の実施	年1回以上	4回	A	能装束研修3回、能面取扱い研修1回	【成果】 能面コンクール作品展の開催に合わせ研修を実施し、能面の取扱い、展示方法を学ぶことができました。  【課題】 個人情報に関して全職員対象研修を実施し認識を確認しました。	【評価できる点】 ・能装束研修等、古典芸能の専門施設としての知識向上に寄与する研修を行うとともに、多様な方が来場する機会である「バリアフリー能」に関わる研修を継続して実施するなど、職員の人材育成に向けた積極的な取組を評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・個人情報保護やコンプライアンスの遵守に向けて、事故の発生を未然に防ぐことや、万が一事故が起きた際の対応フロー等を研修の機会に共有し、職員全員が正しい知識を持つとともに、意識向上に向けた働きかけの継続が必要と考えます。
			<input type="checkbox"/> 「バリアフリー能」研修の実施	年1回	1回	B	車いすの方の身体介助について研修1回		
	8	配置されている職員ならびに補助職員については、業務を通じたOJTならびに研修等を通じてスキルアップを図る	■バリアフリー能研修で得た接客の知識をお客様のおもてなしやサービスに活用 ■事業企画・実施、利用者対応・サービス、施設維持管理につき、体制の維持向上により質の高い施設運営を実施	実施	実施	—	バリアフリー能では2F臨時車いす席を設け、2Fからの避難誘導経路を確認。  — 行事予定表「橋がかり」誤記載を受け個人情報に関する研修を実施。		
6 施設見学等への対応について	9	横浜能楽堂や古典芸能について広く知っていただくため、施設見学日を定期的に設ける	<input type="checkbox"/> 施設見学の開催	月に1回	月1回以上、のべ15回開催	A	毎月第2木曜日(うち8/11山の日スペシャル2回)、262名、4/2さくらフェスタ2016 2回 59名 横浜市10大ニュース応募者見学会 1回、有料見学4回 128名	【成果】 無料の施設見学を施設紹介の機会ととらえ、8月11日の祝日には「山の日スペシャル」として1日2回開催し、またさくらフェスタ2016での見学会を実施しました。また、初めての試みとして横浜市小・中学校校長会において児童・生徒の施設見学会の案内を行いました。  【課題】 ちらしを作成し広く周知を行います。	【評価できる点】 ・様々な機会で開催見学会を行うことにより、能楽堂や古典芸能の魅力積極的に発信したことを評価します。  【改善が必要と考えられる点】 ・今後は、学校見学会などの希望を受け入れるだけでなく、未利用枠の活用、能楽等の愛好者や次世代育成に向けて、積極的な広報・営業の実施を期待します。
	10	教育機関対象に減免制度を設け、施設見学を利用しやすい環境を整える	■能楽を知ってもらうきっかけとして、教育機関向けの見学周知	実施	実施7回	—	学校からの見学6回146名(再掲)、小・中学校校長会での案内		
	11	常設展示について、定期的に展示替え	<input type="checkbox"/> 常設展示の展示替えを実施	年2回以上	年3回	A	能装束展示4月、7月、1月		

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 保守管理業務について	●設備機器の稼働状況を観察し、トラブルを未然に防ぐよう定期点検を実施 ●施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図る	■業務の基準に基づき保守点検を実施  ■過失事故 0件	実施  適切な管理実施	実施  過失事故0	11-1月中央監視盤装置更新工事  警備や施設不具合に日常的に目配りし、過失事故が起こらないよう努めた。	【成果】 中央監視盤装置の更新を実施し、安定的な施設環境管理が実現できました。  【課題】 開館20年を過ぎ、舞台モニターカメラの不調を始め設備の劣化が進んでいます。不具合の早期発見と速やかな対応が重大になってきているため、文化振興課と情報共有を密にはかる必要があります。	【評価できる点】 ・業務の基準に基づき、適切に保守点検が実施され、過失事故がなかったことを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・施設の劣化状況等、引き続き日常的な監視を適切かつ確実に実施していただき、当課とのきめ細やかな情報共有を求めます。
2 環境維持管理業務について	●施設の状態を清潔に保ち、利用者が快適に利用できるように管理を行う ●施設周辺に配慮した植栽管理業務を行う	■業務の基準に基づき維持管理業務を実施  □アンケートでの快適評価  ■過失事故 0件	実施  4.0以上  適切な管理実施	実施  4.43  過失事故0	—  A 公演アンケート回収数1,744件  — 仕様に基づき清掃業務委託、植栽管理を実施。	【成果】 目標どおり実施しました。  【課題】 正面玄関の植栽をシダレモミジからクロマツに植え替えたため、管理費用が増大しています。	【評価できる点】 ・業務の基準のとおり、適切かつ快適な利用環境の提供及び過失事故がなかったことを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
3 保安警備業務について	●業務の基準ならびに別添資料に基づき、24時間警備を実施し、利用者の入退出を適切に管理する	■過失事故 0件	適切な管理実施	過失事故0	— 仕様に基づき警備業務委託を実施。	【成果】 遺漏なく実施しました。  【課題】 —	【評価できる点】 ・業務の基準に基づき、適切に警備業務が行われていること、過失事故がなかったことを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
4 駐車場管理業務について	●業務の基準ならびに別添資料に基づき、施設利用者、近隣住民の安全管理のため、駐車場利用車両の安全誘導に努める ●業務の基準に基づき保守点検を実施する	■過失事故 0件  □保守点検	適切な管理実施  年2回以上	過失事故0  年2回実施	— 警備員による適切な駐車場誘導を行った。  B	【成果】 遺漏なく実施しました。  【課題】 —	【評価できる点】 ・業務の基準に基づき、適切な駐車場管理業務が行われていること、過失事故がなかったことを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
5 防災等について	●関連法規に基づいた届出等を行う ●「危機管理マニュアル」に基づき、災害時に来館者を安全に誘導できるよう消防訓練を行う ●西消防署と協定に基づき連携して防災に取り組む	<input type="checkbox"/> 消防訓練  <input type="checkbox"/> 消防設備の取り扱い研修	年2回実施  年2回実施	年2回実施  年2回実施	B  B	【成果】 遺漏なく実施しました。  【課題】 障がいのある方への安全な誘導方法について今後検討が必要と考えます。	【評価できる点】 ・法令等に基づき、適切に防災対応が行われていることを確認しました。  【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。

平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

6 緊急時の対応について	6 ●訓練等を通じ全てのスタッフに対応の徹底を図る	■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応 □消防訓練(再掲)	実施 年2回実施	実施 年2回実施	— 消防訓練、けが人搬送訓練、ノロウイルス対応訓練、身体障害者対応研修を実施。 B	【成果】 遺漏なく実施しました。 【課題】	【評価できる点】 ・緊急時を想定した、様々な訓練や施設運営の検討の実施を評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
7 文化財の保護について	7 ●スタッフによる日常点検を行い、必要に応じて建築時に携わった日本建築専門業者による簡易点検を実施し、修繕を行う必要が生じた場合は横浜市と協議	■業務の基準に従い適切に管理 ■日常点検 ■専門業者による簡易点検	実施 随時	実施 随時実施	— 揚幕一式の新調 — 日常的に不具合がないか、目配り。 — 床面補修1回	【成果】 適切に対応しました。 【課題】	【評価できる点】 ・本市指定文化財である能舞台の保護を適切に実施していることを評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・今後は、日常管理を行う視点から、長期維持保全の提案を期待します。
8 公園事務所、公園用公衆便所の取り扱いについて	8 ●公園事務所の鍵の管理及び公園用公衆便所の光熱水費の一時負担	■業務の基準に従い取り扱う	実施	実施	— 公園事務所の鍵は適切に管理し、公衆便所光熱水費については滞滞なく請求。	【成果】 適切に対応しました。 【課題】	【評価できる点】 ・公園内の設置施設として、適切な運用の実施を確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
9 広域避難場所用機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の取り扱いについて	9 ●広域避難場所用資機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の鍵の管理	■業務の基準に従い取り扱う	実施	実施	— 適切に管理。	【成果】 適切に対応しました。 【課題】	【評価できる点】 ・業務の基準に基づき、適切な管理の実施を確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
10 光熱水費の削減努力について	10 ●光熱水料費等の削減に努める ●日々の業務遂行上、常に高い意識で無駄の無い運営を心がける	■業務の基準に従い適切に管理 □電気使用量前年度水準を保つ	実施 H27: 410,871kWh	実施 443,798kWh	— 施設利用終了時の消灯や空調オフ忘れがないか、常時確認。 C	【成果】 原油価格の下落により光熱水費は前年度比約200万円減少しました。平成27年度比による使用量増加は、開館20周年のため、公演実施回数が多かったことが原因です。 【課題】 原油価格に左右されることなく、日々の業務の中で無駄のない電気、水道の使用を心がけます。	【評価できる点】 ・光熱水費の削減に向けた、適切な管理の実施を確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・設備不具合等の早期発見にも繋がることのあるため、引き続き、光熱水費の使用状況等の注視を求めます。
11 保険および損害賠償の取り扱い	11 ●施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入	■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応	実施	実施	— 保険適用の事例なし。	【成果】 保険を適用する事故はありませんでした。見所内段差についてはスタッフが注意を促すよう心がけ、日常的に来館者の安全に配慮しました。 【課題】 来場者は、御高齢のお客様も多く、施設の瑕疵事項でなくても救急対応が必要になる場合があるので、訓練等で適切な対応ができるよう備えます。	【評価できる点】 ・業務の基準に基づき、施設賠償責任保険等の加入及び保険適用となる事故等の発生がなかったことを確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。
12 法令の順守と個人情報保護	12 ●法令を遵守し、個人情報保護に取り組む ●財団主催の個人情報保護研修を受講 ●財団主催のコンプライアンス研修を受講	■横浜市個人情報保護条例等の関係法令、財団規程類、基本協定等に基づき適正に管理 □研修出席者は全員に情報を共有し、業務に則した研修を実施	実施 年1回	実施 研修1回 情報共有12回	— 行事予定表「橋がかり」誤記載を受け個人情報に関する研修を実施。 — 管理職が出席しているコンプライアンス委員会での情報共有を徹底。	【成果】 個人情報保護研修を実施し、各自のコンプライアンスへの意識を高め、より堅実に法令の順守と個人情報保護につなげることを一人一人が意識しました。また施設できるキャビネットを購入し、個人情報の含まれる書類管理を十分に行える環境整備ができました。 【課題】 「橋がかり」において個人情報に係る誤記載があり、速やかな回収に努め、また職員全員の研修と手順の見直しを行いました。研修等によりコンプライアンス意識は高まっていますが、業務上、個人情報を取り扱う機会が多いので、今後も十分な注意を怠らないよう努めます。	【評価できる点】 ・個人情報保護等に関して、法令等に基づいた運営を確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・個人情報に関わる事案の発生について、迅速かつ適切な対応を実施したものの、未然に防ぐチェック体制の確実な実施を求めます。



平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

13 情報公開への積極的取り組み	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業計画や記者発表資料などを財団ホームページにて公開</li> <li>●情報開示請求については、財団の規程に従い、担当部署を通して対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組む</li> </ul>	実施	実施	— 情報開示資料の遅滞ない作成と公開。	<p>【成果】 条例趣旨に則った規程類、協定を管理職が把握することにより、適正な取り組みを行いました。</p> <p>【課題】 情報開示請求があった場合には、遅滞なく対応できるよう、文書管理をします。</p>	<p>【評価できる点】 ・情報公開の取組を適切に実施していることを確認しました。</p> <p>【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。</p>
14 市及び関係機関等との連絡調整	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市及び関係機関等との情報交換や業務の調整に努める</li> <li>●重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応</li> </ul>	実施	実施	— 遅滞なく実施	<p>【成果】 連絡を緊密にとり、情報交換や業務の調整を行うことで、円滑な利用者サービスができる状態を保つことができました。</p> <p>【課題】 重要な案件、緊急な案件については、ローテーションでの勤務でも適切に処理できるよう、体制を整えています。</p>	<p>【評価できる点】 ・適切に連絡調整を行っていることを確認しました。</p> <p>【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。</p>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■市の要求に応じた資料の提出等 随時</li> </ul>	実施	実施	— 遅滞なく実施		

評価項目		H28年度計画		実施状況		評価	
IV収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減や効率的運営の努力について	1 助成金等獲得努力	□外部資金獲得	200万円以上	2,790万円	<small>※ショップ</small> A 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業3,330万円(内定額)、芸術文化振興基金316万円(辞退)、寄付金5万円	<p>【成果】 目標を大きく超える2,790万円の助成金の獲得ができ、「赤レンガ新能」を始めとする大型事業の実施と事業の充実が図れました。一方で利用料金については、前年度には貸館での本舞台を利用する連続公演があった影響で減少しました。ショップ商品のリニューアルを行い、前年比17万円の売上増につなげました。看板商品である鏡板は、季節に応じた販促を行いました。</p> <p>【課題】 利用料金収入について前年度比約200万円の減少となりました。高齢化による利用団体の減少に伴い、施設の利用率も減少傾向にあります。邦楽や日本舞踊等のサークル等に施設紹介を行い、利用率および利用料金収入の向上をめざします。ショップ取扱商品の開発に引き続き取り組むとともに、適正な在庫管理を行います。</p>	<p>【評価できる点】 ・助成金について、目標額を大幅に超える獲得により、公演等の事業の充実と同時に指定管理料のみに依存しない収入源の確保に努めたことを評価します。</p> <p>【改善が必要と考えられる点】 ・利用率とそれに連動した利用料金収入を確保することや、企業等との協賛を得ることなどにより、指定管理料のみに依存せず、より安定的な収支や適切な事業収支バランスの実現に向けた取組を引き続き期待します。</p>
	2 事務経費削減の努力			実施	「琵琶とマンドリン イタリア公演」ミラノ音楽院ミラノ音楽院からの招聘をうけイタリア公演を実施。 「能の五番朝薫の五番」伝統組踊保存会との連携。 ショップ新商品 水道局「はまっ子どうし」、オリジナルてぬぐいリニューアル、オリジナル落雁「鏡板」季節の展開。		
	3 外部機関との連携による事業実施		■チラシ作成枚数精査、不要不急の支出抑制等コスト管理を徹底し経費削減	実施	実施		

平成28年度 横浜能楽堂 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H28年度計画	実施状況	評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	説明	自己評価	行政評価
	1			<p>本年度は開館20周年にあたる年であり、能面をテーマにした周年事業を2事業展開し、御来場のお客様などから高い評価をいただきました。一方で施設設備の経年劣化の進行に対応するため、施設の維持・管理において、より注意深く取り組みました。</p> <p>また新規来場者を拡大のため、特別施設見学会の実施や近隣マンションへの広報活動なども積極的に展開しました。</p> <p>外部資金の獲得においては平成27年度に引き続き文化庁からの助成金3330万円(内定額)を獲得し、より充実した事業の開催につなげることができました。</p>	<p>平成28年度は、開館20周年となるとともに第2期指定管理期間の最終年度として、能楽等の公演事業が充実していたことを評価します。</p> <p>一方、能楽等の愛好者や次世代育成という点においては、券売率が低下傾向であることや愛好者の減少傾向などが見られ、第3期指定管理期間に向けて、能楽や古典芸能になじみのない市民に興味を持ってもらい、すそ野の拡大を行うことが課題と考えます。将来を見据え、若手の演者や公演の担い手の育成に向けた事業の検討を求めます。</p> <p>施設運営については、施設利用率の向上が継続的な課題であり、第3期指定管理期間は、学校見学会などを受け入れる姿勢だけでなく、積極的な営業活動を行うことにより、能舞台の格式を維持するとともに多様性のある能楽堂としての活性化を期待します。</p> <p>施設管理については、引き続き日常的な管理と情報共有を徹底することにより、文化財を擁する施設として適切な維持管理を行うとともに長寿命化に向けた取組の実施を求めます。</p>
				<p><b>【第2期指定管理業務総括】</b></p> <p>5年間の指定管理期間を通じて「敷居の低い能楽堂」の継承と発展に努めました。能・狂言の専門施設として、芸術性の高い「企画公演」「特別公演」、能楽の普及をはかる「普及公演」「講座」「ワークショップ」を引き続き開催したほか、毎年度中国、ベトナム、スイス、韓国、イタリアの舞台芸術と日本の古典芸能の競演による国際交流事業を実施しました。平成26年度は企画公演「琉球舞踊 古典女七踊」にて文化庁芸術祭大賞を受賞し、高い企画力に評価をいただきました。また平成27年度にはバリアフリー能の継続的な取組みに関し「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰「内閣府特命担当大臣優良賞」」を受賞。全国の劇場では初めての受賞となり、公立文化施設が担うべき社会的役割に対して意義ある事業として評価していただきました。</p> <p>貸館利用率については、2期を通じて第二舞台が目標70%に届きませんでした。第3期では、施設のプロモーションを含めて専任のスタッフを配置し、利用率の向上に取り組めます。</p> <p>施設管理については、重大事故0でした。施設は空調、音響、照明等の劣化が進んでおり、不調・不具合が発生しています。日々の点検で致命的な故障を未然に防ぎ早期での修繕を実施することに合わせて、横浜市との情報共有に努めました。</p> <p>外部資金の獲得については、助成金を中心に獲得に努めました。平成27, 28年度は文化庁劇場・音楽堂等活性化事業助成による大規模事業の開催が可能となるとともに安定した施設運営が実現できました。</p>	<p><b>【第2期指定管理業務総括】</b></p> <p>第2期指定管理期間は、横浜能楽堂独自の視点や企画力による公演により、高い券売率で多くの方に御来場いただくだけでなく、多方面から評価される事業展開を中心とした運営が行われました。「バリアフリー能」や他の芸術分野とのコラボレーション事業など、全国の劇場でも先進的な取組を積極的に行い、横浜能楽堂の発信力を高めたことを評価します。</p> <p>引き続き創造的な公演事業を行うとともに、能楽等に関心を持つ方の拡大や次世代育成に向けた地道な取組を行い、幅広い市民が能楽に親しむ機会の提供を期待します。</p> <p>運営面では、施設の専門性の高さから、施設の利用率向上は難しい部分があるものの、ユニークベニューやアフターコンベンションなど多様な利用の可能性があると考えています。</p> <p>開館より20年を迎え、施設の設備面等で不具合が生じる時期となり、よりきめ細やかな日常点検や維持管理、不具合への早期対応が求められますが、多くの市民の要望から設立された能楽堂としてふさわしい取組を継続することで、文化施設のトップランナーとして確固たる地位を築くことを期待します。</p>